

2月議会を前に鍛えます。議員研修

2月9・10日

2月9・10日、神田神保町の日本教育会館で「第30回市町村議会議員研修会 in TOKYO」が開かれ、栗山香代子議員が受講しました。釘丸久子議員も参加予定だったので、議会の会議が入り欠席。議員は議会が優先しますから、予定していても参加できないことがあります。

記念講演

2015年度予算のポイントと 地方創生・地方財政の課題

立命館大学教授 森裕之氏

国の2014年度の予算で増えたのは2つ、公共事業と防衛費。2015年度も同じ形になるだろう。地方自治体に対し、行革をしないと予算配分を減らす、民間委託するものさえなくしてしまえ、単独事業も国に合わせて削減をしろ、など、難癖に近いものを言っている。

国は言うことがコロコロ変わる。アベノミクスで儲かっているのはごく一部であり、地方は儲かっている。アベノミクスではまずいとわかってきた。トリクルダウンは無い。ゾンビ経済の一つがトリクルダウンだ。社会保障と税の一体改革とは消費税を上げるとい



講演する森裕之氏

かかってきた。トリクルダウンは無い。ゾンビ経済の一つがトリクルダウンだ。社会保障と税の一体改革とは消費税を上げるとい

今週の活動から



アミューあつぎ9階の「映画.COMシネマ」が近頃評判です。2月13日までの上映でしたが、「滝を見にいく」「グレース・オブ・モナコ」…。両作品とも昨年の映画です。せっかく厚木市に復活した映画館です。

上映希望を伝えながらより良いものにしていきましょう。釘丸議員はシルバーチケットで会員サービスの500円で入場できます。(上：釘丸久子議員)

自転車・歩行者を分けた歩道



朝、研修前に水道橋界隈を散歩。自転車と歩行者の通行を白線で区分している歩道です。自転車側を歩いて上の表示に気付きました。みんなあまり守っていないようでした。

公共施設再編について総合管理計画をつくることになっている。公共施設はマネジメントと同時に、施設を使う主体である住民の暮らしや経済活動の観点から、地域社会の持続

事。社会保障の安定化を言うが、赤字をなくすためであり、サービスも暮らしも良くなる。消費税を上げて、ほとんどが国の借金返済である。皆さん、国に対して怒ってください。地方創生について国は「画一的な手法はとらない」とするが、地方が何をやっていいのかわからないのだ。国に従わなければ金を出さないと。自治体として対応しないわけにはいかない。財政をエサに「集約とネットワーク化」を進めようとしているのが「地方創生」。国土のグランドデザイン2050は「コンパクトとネットワーク」を謳うが、住む所を設定するという事は、住まない所も設定するという事。

この他にも次の講義がありました。地域包括ケアシステム構築と自治体の課題 聖隷クリストファー大学教授 太田貞司氏

来年度から制度が変わるものばかりです。国も地方自治体も、大きな変わり目にあることを強く感じます。森教授は何度も「皆さん、国に対して怒ってください」と呼びかけていました。本当に、このままでは国民の命と暮らしが脅かされることは間違いありません。国民として、市民として、一人ひとりが意識をして声をあげていくことが必要だと感じました。

国保都道府県単位化とあるべき国民健康保険制度 神奈川県社会保険推進協議会 事務局長 佐々木滋氏

子ども・子育て支援新制度のチェックポイントと自治体の課題 京都華頂大学教授 藤井伸生氏

住民自治は「住民参加への責任」「住民の納得」「住民同士の融和」がキーワードである。地域の内発的発展は地方自治体・議会の矜持が問われる。



全国市町村議会議員研修会 in TOKYOに参加した栗山議員。毎年、国の予算と地方の関係について予算議会前に研修会が行われています。

全国から130人の議員が参加し、講義の合間には情報交換をしました。毎年この会場で見知った議員に会えるのも楽しみです。友好都市・横手市の議員にも会えました。(下：栗山香代子議員)